



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス  
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	49,854	8.4	4,432	35.6	5,390	14.6	3,861	27.7
27年3月期第1四半期	46,010	△4.9	3,268	△38.6	4,702	△19.4	3,023	△18.6

(注)四半期包括利益 28年3月期第1四半期 9,296百万円 (65.3%) 27年3月期第1四半期 5,624百万円 (△35.8%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	27.41	27.34
27年3月期第1四半期	21.46	21.41

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	307,074	236,775	233,823	76.1	1,660.21
27年3月期	300,272	231,568	228,857	76.2	1,624.93

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	106,000	10.2	9,000	7.2	9,300	△8.1	6,200	△5.1	44.02
通期	205,000	6.9	14,000	97.7	14,500	27.8	10,000	18.4	71.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	143,378,085 株	27年3月期	143,378,085 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	2,538,651 株	27年3月期	2,537,276 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	140,839,822 株	27年3月期1Q	140,838,676 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
- ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
- ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
- ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
- ・直営店事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
- ・WEB販売の強化による売上増加が達成できないリスク
- ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
- ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
- ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
- ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
- ・海外事業に関連して増加するリスク
- ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
- ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
- ・知的財産権に関連するリスク
- ・情報システムに関するリスク
- ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
- ・内部統制に関連するリスク
- ・有価証券に関連するリスク
- ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク

これらの詳細については、当社の有価証券報告書をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

## ①当第1四半期の業績

当社グループでは3カ年中期経営計画（2013～2015年度）の最終年度を迎え、引き続き主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、多様化する国内レディスインナー市場への対応による売上シェアの拡大と、レディスインナー事業以外の体制整備、また海外事業の積極的な展開による成長力・収益力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期の連結業績は、国内事業については、消費税増税後の消費者の節約志向が依然強いものの、インバウンド需要を含め、相対的に高額品の需要が活況だったことから、前年同期の大幅な落ち込みから回復し、売上は堅調に推移しました。海外事業につきましても円安により売上高が嵩上げされ、全体の売上高は前年同期を上回りました。利益面では、国内売上の増加とともに、円安による海外事業の利益上乗せや子会社ピーチ・ジョンの収益改善により、全体の利益は前年同期を上回りました。

●売上高	498億54百万円	（前年同期比	8.4%増）
●営業利益	44億32百万円	（前年同期比	35.6%増）
●税引前四半期純利益	53億90百万円	（前年同期比	14.6%増）
●当社株主に帰属する四半期純利益	38億61百万円	（前年同期比	27.7%増）

## ②オペレーティング・セグメントの営業概況

## a. ワコール事業（国内）

国内事業においては、外部環境の変化に対応できる体制構築を中心に、拡大するインバウンド消費対策や地方・空白エリアでのチャネル横断的な取り組みによって顧客接点の拡大に取り組みました。また、商品面では、ブラジャー着けはじめ世代やミス・シニア向け商品の展開拡大に取り組みました。

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、一部地域の百貨店チャネルでのインバウンド需要の拡大が寄与したことと、主力アイテムであるブラジャーやプレステージブランド・シニア向けブランドが好調に推移したことで、インナーウェアの売上は前年同期を上回ったものの、パジャマなどのアイテムが苦戦し、事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

ウイングブランド事業本部につきましては、春のキャンペーンでは苦戦したものの夏物ブラジャーのバリエーションを増やしたことでブラジャー全体が好調に推移し、ガードルとともに全体の売上を牽引しました。また、ティーン向けブランドの店舗拡大も寄与し、事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」では、アパレルブランドとのコラボ商品が好調に推移したことや、会員限定の販促策が奏功し、売上は順調に推移しました。また、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」も空港周辺エリアを中心にインバウンドがさらに売上を牽引し、事業本部全体の売上は、前年同期を大きく上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X（シーダブリューエックス）」はトレッキングやゴルフ向けの需要が低下したため店頭販売が苦戦し、事業部全体の売上は、前年同期を下回りました。

通信販売事業部につきましては、カタログ販売については、媒体配布年齢層の拡大と投下時期の前倒しが奏功し、売上は前年同期を上回りました。また、ウェブストアについては、前年のサイト閉鎖の影響がなくなったことや検索エンジン最適化により来訪客数が増加しました。その結果、事業部全体の売上は、前年同期を上回りました。

当期に三愛グループから事業譲受しました水着事業と下着直営事業を展開する国内子会社株式会社A i（アイ）については、水着事業とともに下着事業も売上計画を下回りましたが、利益については計画を上回りました。

以上の結果、主力事業会社ワコールの売上増加と株式会社A iの売上が新たに加わったことにより、ワコール事業（国内）セグメント全体の売上高は、前年同期を上回りました。利益面につきましても、株式会社ワコールにおいて、海外生産における加工賃上昇等による売上利益率の低下を抑えた結果、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

●売上高	288億36百万円	（前年同期比	7.9%増）
●営業利益	22億97百万円	（前年同期比	35.8%増）

## b. ワコール事業(海外)

米国ワコールは、高級品市場でのシェア拡大とともに「b. t e m p t ' d (ビー・テンプレッド)」ブランドの販売強化による収益改善に取り組みました。売上面では、米国内において「b. t e m p t ' d」は苦戦しましたが、主力のワコールブランドが堅調に推移したことやインターネット販売および周辺国、欧州向け輸出が好調に推移した結果、全体の売上は現地通貨ベースで前年同期を上回りました。利益面では、30周年記念PR費の計上などにより販管費が増加したため、現地通貨ベースでは前年同期を下回りましたが、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。

ワコールヨーロッパにつきましては、欧州・豪州におけるワコールブランドの認知促進と売上拡大に取り組みました。売上面では、英国については、ワコールブランド商品の展開拡大とともにすべてのブランドが順調に推移しました。また、米国でも百貨店が回復したことから堅調に推移しました。しかし、ユーロ圏では、欧州経済の先行き不安による消費意欲の低下や、特にフランスにおいては、新体制構築に伴う過渡的な影響があったことから苦戦しました。これらによって、全体の売上は現地通貨ベースでは前年同期を下回ったものの、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。利益面では、売上の減少とドル高による仕入れ原価が上昇したことなどから、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

中国ワコールにつきましては、中間層市場の拡大や収益体制の確立に取り組みました。売上面では、景気の減速感が強まっている中、中間層向けブランド『LA ROSABELLE (ラ・ロッサベル)』については、順調に推移しているものの店舗採算を重視した結果、出店数が当初計画を下回りました。一方、ここ数年研究してきた中国人女性のニーズにあった商品がヒットしたことや、インターネット販売やアウトレットなども伸長し、全体の売上は前年同期を大きく上回りました。利益面では、現地材料調達比率が拡大したことや、売上利益率の高いチャネルでの販売構成比が高まったことから売上利益が拡大し、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、ワコール事業(海外)セグメント全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

●売上高	142億77百万円	(前年同期比 12.7%増)
●営業利益	19億04百万円	(前年同期比 4.5%増)

## c. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョンにつきましては、3ブランド体制による既存顧客との接点維持と店舗出店による新規顧客との接点拡大に努めました。売上面では、主力の通信販売については、集客が伸びず前年同期を下回りましたが、国内直営店は、週ごとに商品展開を変更して鮮度を保つ手法により入店客数も増え、前年同期を大きく上回りました。利益面では、価格設定の見直しによる売上利益の改善や経費抑制に努めたこと、また中国事業の不採算店舗の撤退やインターネット販売への移行が売上利益率改善に寄与し、前年同期の営業損失から大きく改善しました。以上の結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上と利益は、前年同期を上回りました。

●売上高	28億86百万円	(前年同期比 1.5%増)
●営業利益	3億44百万円	(前年同期は営業損失 86百万円)

## d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、新販路開拓や生産基盤の整備に取り組みました。主力のインナーウェアを展開するインナー事業部は、大手得意先向けの商品が好調に推移しました。また、アパレル事業部をはじめその他事業も好調に推移し、ルシアン全体の売上は前年同期を上回りました。利益面については、円安の影響で売上利益率が悪化し、営業損失となりました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩につきましては、レンタル事業の維持拡大及び、工事業の新規獲得による売上拡大に取り組みました。レンタル事業については前年並みでしたが、物販は、量販店チャネル向け什器が売上に寄与しました。工事業については、前年同期を大きく下回り、全体の売上は前年同期並みとなりました。利益面については、前年同期に引き続き営業損失となりました。

●売上高	38億55百万円	(前年同期比 2.1%増)
●営業損失	1億13百万円	(前年同期は営業損失 1億59百万円)

## (2) 連結財政状態に関する説明

### ①資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産や時価評価による投資の増加などにより、前連結会計年度末に比して68億2百万円増加し、3,070億74百万円となりました。

負債の部は、短期借入金のほか、その他の流動負債が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して15億95百万円増加し、702億99百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定や未実現有価証券評価損益の増加などにより、前連結会計年度末に比して49億66百万円増加し、2,338億23百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.1%減少し、76.1%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して35億16百万円減少し、348億94百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益39億73百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、29億75百万円の収入(前年同期に比し24億65百万円の収入減)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得やその他の投資活動などにより、25億51百万円の支出(前年同期は9億30百万円の収入)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払などにより、43億40百万円の支出(前年同期に比し3億71百万円の支出減)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結予想数値につきましては、平成27年5月11日発表時から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	38,410	34,894	△ 3,516
定期預金	2,687	2,686	△ 1
有価証券	2,387	2,379	△ 8
売掛債権	26,544	24,582	△ 1,962
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,409	△ 2,522	△ 113
たな卸資産	42,893	46,818	3,925
繰延税金資産	5,488	4,857	△ 631
その他の流動資産	4,264	6,064	1,800
流動資産合計	120,264	119,758	△ 506
II. 有形固定資産			
土地	22,009	22,036	27
建物及び構築物	64,038	64,374	336
機械装置及び工具器具備品等	16,760	17,242	482
建設仮勘定	923	1,492	569
	103,730	105,144	1,414
減価償却累計額	△ 54,542	△ 55,423	△ 881
有形固定資産合計	49,188	49,721	533
III. その他の資産			
関連会社投資	22,052	21,844	△ 208
投資	59,963	64,394	4,431
のれん	18,750	19,937	1,187
その他の無形固定資産	12,739	13,409	670
前払年金費用	10,577	10,914	337
繰延税金資産	982	960	△ 22
その他	5,757	6,137	380
その他の資産合計	130,820	137,595	6,775
資産合計	300,272	307,074	6,802

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	10,038	14,514	4,476
買掛債務			
支払手形	1,031	1,599	568
買掛金	11,346	11,782	436
未払金	6,686	4,357	△ 2,329
	19,063	17,738	△ 1,325
未払給料及び賞与	6,936	5,478	△ 1,458
未払税金	2,064	662	△ 1,402
その他の流動負債	4,201	7,885	3,684
流動負債合計	42,302	46,277	3,975
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,680	1,441	△ 239
繰延税金負債	18,796	20,451	1,655
その他の固定負債	5,926	2,130	△ 3,796
固定負債合計	26,402	24,022	△ 2,380
負債合計	68,704	70,299	1,595
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,642	29,653	11
III. 利益剰余金	155,264	154,900	△ 364
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	10,831	13,405	2,574
未実現有価証券評価損益	20,821	23,728	2,907
年金債務調整勘定	1,934	1,774	△ 160
V. 自己株式	△ 2,895	△ 2,897	△ 2
株主資本合計	228,857	233,823	4,966
VI. 非支配持分	2,711	2,952	241
資本合計	231,568	236,775	5,207
負債及び資本合計	300,272	307,074	6,802

## (2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	46,010	100.0	49,854	100.0	3,844
II. 営業費用					
売上原価	20,982	45.6	22,588	45.3	1,606
販売費及び一般管理費	21,760	47.3	22,834	45.8	1,074
営業費用合計	42,742	92.9	45,422	91.1	2,680
営業利益	3,268	7.1	4,432	8.9	1,164
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	28		37		9
支払利息	△ 27		△ 21		6
受取配当金	482		558		76
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	1		24		23
有価証券・投資評価損	△ 0		△ 0		0
絵画売却益	1,059		-		△ 1,059
その他の損益(純額)	△ 109		360		469
その他の収益・費用合計	1,434	3.1	958	1.9	△ 476
税引前四半期純利益	4,702	10.2	5,390	10.8	688
法人税等	1,777	3.8	1,806	3.6	29
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	2,925	6.4	3,584	7.2	659
持分法による投資損益	187	0.4	389	0.8	202
四半期純利益	3,112	6.8	3,973	8.0	861
非支配持分帰属損益	△ 89	△ 0.2	△ 112	△ 0.3	△ 23
当社株主に帰属する四半期純利益	3,023	6.6	3,861	7.7	838

## (3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	3,112		3,973		861
II. その他の包括損益					
— 税効果調整後					
為替換算調整勘定	869		2,580		1,711
未実現有価証券評価損益	1,695		2,903		1,208
年金債務調整勘定	△ 52		△ 160		△ 108
その他の包括損益 合計	2,512		5,323		2,811
四半期包括損益	5,624		9,296		3,672
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 101		△ 114		△ 13
当社株主に帰属する四半期包括損益	5,523		9,182		3,659

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
	(自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 6月30日)	(自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 6月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	3,112	3,973
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	1,367	1,169
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	196	83
(3)繰延税金	779	721
(4)固定資産除売却損益(純額)	△ 25	7
(5)絵画売却益	△ 1,059	-
(6)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 1	△ 24
(7)有価証券・投資評価損	0	0
(8)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	397	355
(9)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少	3,445	2,253
たな卸資産の増加	△ 1,137	△ 2,504
その他の流動資産等の増加	△ 1,756	△ 1,719
買掛債務の減少	△ 714	△ 1,471
退職給付に係る負債の減少	△ 392	△ 818
その他の負債等の増加	1,196	975
(10)その他	32	△ 25
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,440	2,975
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 374	△ 508
2. 定期預金の減少額	966	539
3. 有価証券の売却及び償還収入	106	122
4. 有価証券の取得	-	△ 135
5. 絵画の売却収入	1,275	-
6. 有形固定資産の売却収入	164	75
7. 有形固定資産の取得	△ 844	△ 1,062
8. 無形固定資産の取得	△ 262	△ 492
9. 投資の売却収入	-	27
10. 投資の取得	△ 108	△ 130
11. 子会社株式の追加取得	△ 1	-
12. その他	8	△ 987
投資活動によるキャッシュ・フロー	930	△ 2,551
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	274	4,312
2. 長期債務による調達	-	100
3. 長期債務の返済	△ 250	△ 4,433
4. 自己株式の取得	△ 0	△ 2
5. 当社株主への配当金支払額	△ 4,648	△ 4,225
6. 非支配持分への配当金支払額	△ 87	△ 92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,711	△ 4,340
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 96	400
V. 現金及び現金同等物の増減額	1,563	△ 3,516
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	30,658	38,410
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	32,221	34,894

## 補足情報

現金支払額		
利息	27	21
法人税等	2,548	3,628
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	352	446

## (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## ① オペレーティング・セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	26,719	12,670	2,844	3,777	46,010	—	46,010
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	435	2,132	160	1,162	3,889	△ 3,889	—
計	27,154	14,802	3,004	4,939	49,899	△ 3,889	46,010
営業利益(△損失)	1,691	1,822	△ 86	△ 159	3,268	—	3,268

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	28,836	14,277	2,886	3,855	49,854	—	49,854
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	387	2,196	173	1,366	4,122	△ 4,122	—
計	29,223	16,473	3,059	5,221	53,976	△ 4,122	49,854
営業利益(△損失)	2,297	1,904	344	△ 113	4,432	—	4,432

(注) 各事業の主な製品

ワコール事業(国内)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他
ワコール事業(海外)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他
ピーチ・ジョン事業	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
その他	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキーン人形、店舗設計・施工他

## ② 地域別情報

前第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	33,240	4,165	8,605	46,010
構成比	72.2%	9.1%	18.7%	100.0%
営業利益	1,420	537	1,311	3,268

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	35,503	4,589	9,762	49,854
構成比	71.2%	9.2%	19.6%	100.0%
営業利益	2,538	516	1,378	4,432

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

## (6) 販売の状況

製品の種類		前第1四半期 自平成26年4月1日 至平成26年6月30日		当第1四半期 自平成27年4月1日 至平成27年6月30日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	百万円 34,278	% 74.5	百万円 37,709	% 75.6	百万円 3,431	% 10.0
	ナイトウェア	2,613	5.7	2,518	5.1	△ 95	△ 3.6
	リトルインナー	420	0.9	405	0.8	△ 15	△ 3.6
	計	37,311	81.1	40,632	81.5	3,321	8.9
アウターウェア ・スポーツウェア等		3,957	8.6	4,538	9.1	581	14.7
レッグニット		668	1.4	637	1.3	△ 31	△ 4.6
その他繊維製品 及び関連製品		2,060	4.5	1,830	3.7	△ 230	△ 11.2
その他		2,014	4.4	2,217	4.4	203	10.1
合計		46,010	100.0	49,854	100.0	3,844	8.4